

神は細部に宿る *God is in the details*

ドイツ出身の建築家で、近代建築の巨匠ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ (Ludwig Mies van der Rohe、1886年3月27日～1969年8月17日) の言葉とされています。

「細部 (ディテール) のこだわりが作品の本質を決める」。つまり、細かな点まで気を配って作られた作品こそ、美しく良い作品であるという意味です。

ル・コルビュジエ、フランク・ロイド・ライトと共に、近代建築の三大巨匠 (ヴァルター・グロピウスを加えて、四大巨匠) と呼ばれています。

列王記上 6 : 37、38

主の神殿の基礎が据えられたのが、ソロモン (→イスラエル第3代目の王、在位 : BC970～931頃) の治世第四年のジウの月、同第十一年のブルの月、すなわち第八の月に (ソロモン) **神殿はその細部に至るまで計画どおりに完成した**。その建築には七年を要した。

1 Kings Chapter 6:37,38

In the fourth year was the foundation of the house of the LORD laid, in the month Zif:38 And in the eleventh year, in the month Bul, which is the eighth month, **was the house finished throughout all the parts thereof, and according to all the fashion of it.** So was he seven years in building it. —KING JAMES BIBLE 欽定訳—

【参考】 神殿

▶ 第一神殿 (ソロモン神殿)

BC1000年頃、イスラエルの二代目の王ダビデ (在位 : BC 1010～970頃) が建設を計画し、その息子のソロモン王 (在位 : BC 970～BC931頃) によってエルサレム旧市街、神殿の丘に建設された神殿 (ソロモンがイスラエルを支配してから4年目に建設を始め7年後に完成した)。

BC 587/586年、バビロン (バビロニア軍) のネブカドネツアル二世がエルサレムを占領 (エルサレム攻囲戦)、ユダヤ人はバビロンに捕囚となり、神殿も破壊された。

▶ 第二神殿 (エルサレム神殿、ヘロデ神殿) →ヘブライ語で「ヤハウエの家」と呼ばれた。

BC 539年頃、ペルシアのキュロス二世がバビロンを占領、バビロンに捕囚となっていたユダヤ人は解放され、帰国と神殿の再建を認めた。バビロンのネブカドネツアル二世によって破壊されたソロモンの第一神殿に代わって、BC 515—ダレイオス王の治世第六年 (BC 516年) —に、ゼルバベルの指揮でエルサレムの神殿の丘に建設された神殿 (近隣の民による絶えざる妨害により、神殿再建の事業はBC 536年から520年まで中断を余儀なくされた→エズラ記 4 : 4～5、6 : 14～15)。

後、ヘロデ王 (在位 : BC 37年～BC 4年) がBC 20年から増改築工事を開始し、AD64年によく完成した (完全改築に近い形で大拡張された) ことから、**ヘロデ神殿**とも呼ばれる。AD 70年、ローマ軍によって破壊され、現在は「嘆きの壁」と呼ばれる外壁の一部が残っている。

AD 7世紀末には、この地にイスラム教のモスク (アクサ・モスクおよび岩のドーム) が建てられた。

▶ 第三神殿 (未完成) ユダヤ人がエルサレムの「神殿の丘」に再建しようとしている神殿。